



# 患者会の支部活動報告

## 文京支部

### 「今年の抱負」

今年も昨年にも増して激動の年になりそうです。先般の幹事会でも確認しました。気持ちを新たに「初心に戻って」前半六ヶ月をフルスピードで、かつ力強く駆け抜けねばなりません。みな体力は少し落ちても気力は以前にも負けません。山積み課題に向かっ全力を結集しましょう。



下右が文京支部長 向田さん・松井さん  
上が上野さん・比留間さん・月安さん

## 支部のテーマ

西会長の退院と現場への復帰  
二月十七日(日)支部の成功  
総会の成功  
会員数の拡大  
スリーピング会員の家族への接触  
関連団体との密な連携



左から豊島支部長福島さん・中野杉並支部清水さん・広瀬さん・世田谷支部長武井さん・練馬支部進藤さん

## 中野・杉並支部

中野・杉並支部はJR中央線をはさんで東西にまたがる地域で広く2区が合併した支部です。かつては山の地域といわれ、みどり豊かな地帯から除外されました。しかし最近では、環6、環7、環8、青梅街道、新青梅街道、甲州街道、東八道路など幹線道路に大型車が溢れ、排出される「排ガス」で、大気は汚染され、呼吸器疾患が増加傾向にあります。



左が進藤光子さん、患者である娘さんの理江さんと

## 豊島支部報告

豊島支部は都内で唯一運行している、都電荒川線の鬼子母神前からほど近い鬼子母神診療所に通う患者のみなさんが多く所属しています。東京大気汚染公害裁判「一次原告だった古株の患者さんと都の医療費助成認定を受けて入会した患者の皆さんが一体となって活動しています。一月の幹事会で話題になったのは、昨年十二月に行われた「泊バス旅行」についてでした。「私は毎年参加したいと思っブで行かれない。でも、皆と一緒に日帰りでも良



豊島支部 小澤さん

## 足立支部報告

新しい年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。昨年は都条例・新しい救済制度・公健法をつぶさないでと、運動をして来ましたが、新しい仲間を迎えることもできました。仲間もいて、喜びと淋しさも感じた一年でした。今年も小池(足立)の医療機関から患者会足立支部に出向で事務局を務めておられました。柏葉さんが新しく事務局に入ってくださいました。



足立支部長 鈴木さん

先日柏葉さんの奥様が気管支ぜん息と診断され、医療費の請求にビックリ、東京在住でないのに、新しい救済制度の必要性を強く感じたことでした。



左が足立支部 村岡さん隣は新しい事務局の柏葉さん

## 大田支部 今年思うこと



大田支部長 和田さん

都条例・公健法と並々ならぬ努力が必要であり、試験が試される年でもあります。これまででも正念場は何度も乗り越えてきました。大気公害裁判の解決するまでの状況等々、もう一度思い描いてみて、原告としてあの裁判に加わ

## 北支部 今年の抱負

らなかつた会員の一人ひとりに語り継いで、私たちが被害者は決してこの様な悪い政治を許さないぞという、強い気持ちで行動し闘ってゆきたいと思



右が北支部長の小柳さん  
左は桐ヶ岡班の門井さん

北支部では「公健法」の患者は裁判の後も患者会を引っ張ってきたが大半は七十歳後半、九十歳近くなつた。長いぜん息治療で副作用も出て、いくつも治療を抱えてしまっている。体の弱りと共に記憶力もうせて、日常間違えがないよう懸命に努力している。会計など事務的なことは出来るだけ努力するが、

## 全国患者の会 連合会幹事会報告

一月二十日(日)二十一日(月)の二日間、全国患者の会連合会の幹事会が開かれました。会場は一日目が川崎患者会会議室(写真下)二日目は新宿の公害センターで討議されました。議題は公健法認定患者の生活補償費の財源である自動車重量税廃止問題・国に新たな救済制度創設を求めて、その他についてです。

後、幹事会で討議された直後、自民党税制調査会と

自動車議員連盟等で大詰めの交渉が二十二日深夜から二十三日未明にかけて行われました。最終的に自動車取得税は消費税10%段階で廃止、患者の補償費財源である自動車重量税は、道路の維持管理などに使道を限定する「特定財源」に戻す方向を打ち出した。回避されたこととなり、課税の性格の明確化の中で、公害健康被害者補償の財源であること

を訴え、大気汚染の被害を訴え、被害者救済を求め、これからは国に求める新たな救済制度の実現にも意欲が湧き



後日談になります。自動車重量税廃止反対を与党税調に訴えて全国患者会は、年明けから5回の国会要請をしました。

**東京患者会これから主な行動**

- 地域医師会要請 (現在獲得25医師会)
- 国会要請
- 環境委員を中心に署名の積み上げ (東京はあと約1万筆)
- 総会準備 (3月31日)